

#TAKO オレンジプロジェクト

9月は、世界中で認知症への理解を深める「世界アルツハイマー月間」です。日本では9月が「認知症月間」、9月21日が「認知症の日」と定められました。町ではオレンジプロジェクトとして、さまざまな取り組みを行います。

認知症と共に生きる方々が地域で安心して暮らせるよう、共生社会の実現が重要です。認知症は誰にでも起こりうる身近な病気であり、正しく理解し、偏見なく接することが大切です。この月間を機に、認知症について考えてみませんか。

認知症サポーター養成講座

多くの方に認知症を正しく理解していただくため、各団体やサークルなどに講師を派遣しています。認知症を深く理解し、認知症のご本人、ご家族を応援する認知症サポーターになりませんか。



講座内容●認知症に関する講座(90分程度)
申込方法●実施希望日の2カ月前までに「日時・会場・参加人数・代表者の連絡先」をお知らせください。

その他●講師派遣の費用はかかりません。
また、会場の手配や参加者への連絡は各団体でお願いします。

認知症カフェ「ほほえみ」

認知症のご本人やそのご家族、地域の皆さん、医療・介護・福祉の専門職の方などが参加できる“交流の場”です。内容に特に決まりはなく、優しさや温かみを感じることができ、誰でも気軽に参加できる場所を目指していきます。



日時●毎月第一木曜日 午後1時30分～3時
※令和8年1月は第二木曜日の開催となります。
会場●多古町魅力発信交流館(たこらぼ)多古町多古 2444番地
備考●飲み物代として100円をご持参ください。

家族交流会

認知症の方を介護するご家族の息抜きや交流、悩みや経験を話し合う場として開催しています。交流会には認知症介護の専門職や地域包括支援センターの職員がいますので、日頃の悩みをうかがい、介護の方法を一緒に考えていきます。お気軽にお立ち寄りください。



日時●毎月第一木曜日 午後1時30分～3時
※令和8年1月は第二木曜日の開催となります。
会場●多古町魅力発信交流館(たこらぼ)多古町多古 2444番地

参加者の声

- 「皆さんのお話を聴いて、とても勉強になります」
- 「認知症介護が終わったので、今までの経験を何かのお役に立てたらと思い、参加しています」

認知症伴走型支援事業 認知症ほっとライン

「もしかして認知症?」と感じたとき、今後の生活に不安があるとき、また介護のことで悩んだときなど、ご家族だけで抱え込まずにどんなささいなことでも、お気軽にご相談ください。

認知症ほっとラインでは、ご本人やご家族に寄り添って支援をしていきます。身近な相談場所としてご利用ください。

日時●毎週水曜日 午前10時～午後2時
相談場所●多古特別養護老人ホーム
相談方法●電話・来所(事前予約制)
予約方法●☎76-8181



相談を担当している認知症ケア専門士の片見みどりさん



ドキドキ

認知症とともに地域で暮らす

夫と二人で暮らす友子さん(仮名)は認知症の診断を受けて5年が経ちます。地域包括支援センター職員が、お二人にインタビューしました。

友子さん
昔から私たちはパンとコーヒーで朝食をとるんです。以前はサイフォンでコーヒーを淹れていましたが、使うのが難しくなってしまう...今はインスタントコーヒーになってしまいましたが、夫とコーヒーを楽しむことは続けていますよ。忘れてしまうこともたくさんあるけれど、夫は一度も私を怒ったことはありません。夫の優しさに救われています。

夫
妻がサイフォンでコーヒーを淹れることは忘れてしまっても、朝に二人でコーヒーを飲む習慣は続けています。小さなことでもいいから、「できた!(コーヒーを淹れられた!)」という達成感を感じてほしいんです。

友子さん
自分が認知症になるとは想像していなかったけれど、これは皆さん同じように思っているのではないのでしょうか。私も当初は他人事と思っていました。でも、認知症でなぜ悪いの?認知症は誰でも通る道でしょ?と今は思っています。忘れてしまっても、夫は私を叱らないので、失敗することを恐れませんが、歌や体操など、好きなことをたくさんしている今は、毎日がとても楽しいですよ。

夫
忘れてもいい。間違えてもいい。いろいろな人との出会いを大切にしてほしい。みんなに助けをもらうためにも、たくさん外に出て、たくさん話して、その先に相談できる人ができたら最高ですね。

介護保険サービス事業所の職員さんに認知症ケアに携わる想いを聞きました。

小規模多機能型居宅介護
ルミナスおたがいさま
介護支援専門員 渡辺加奈子さん
小規模多機能型居宅介護は、1つの事業所で通い・泊まり・訪問サービスを提供し、利用者様のニーズに応じて柔軟に組み合わせ利用できます。

「認知症の方でも、住み慣れた地域や自宅で、安心して長く暮らせるように」という思いで、症状や生活に応じた支援をさせていただいております。小規模な事業所なので、顔なじみのスタッフの介護を安心して受けていただくことができ、アットホームな雰囲気の中で一人ひとりに寄り添ったケアに努めています。

認知症の方に寄り添い、周りの方々とも協力し、暮らしのサポートができればいいと考えています。



多古町立図書館で「認知症」特集を開催します

9月中、多古町立図書館特設コーナーで、認知症特集を開催します。認知症に関する本を展示しますので、ぜひ足を運んでみてください。

オレンジプロジェクトのお問合せ●地域包括支援センター(保健福祉センター内) ☎70-6111